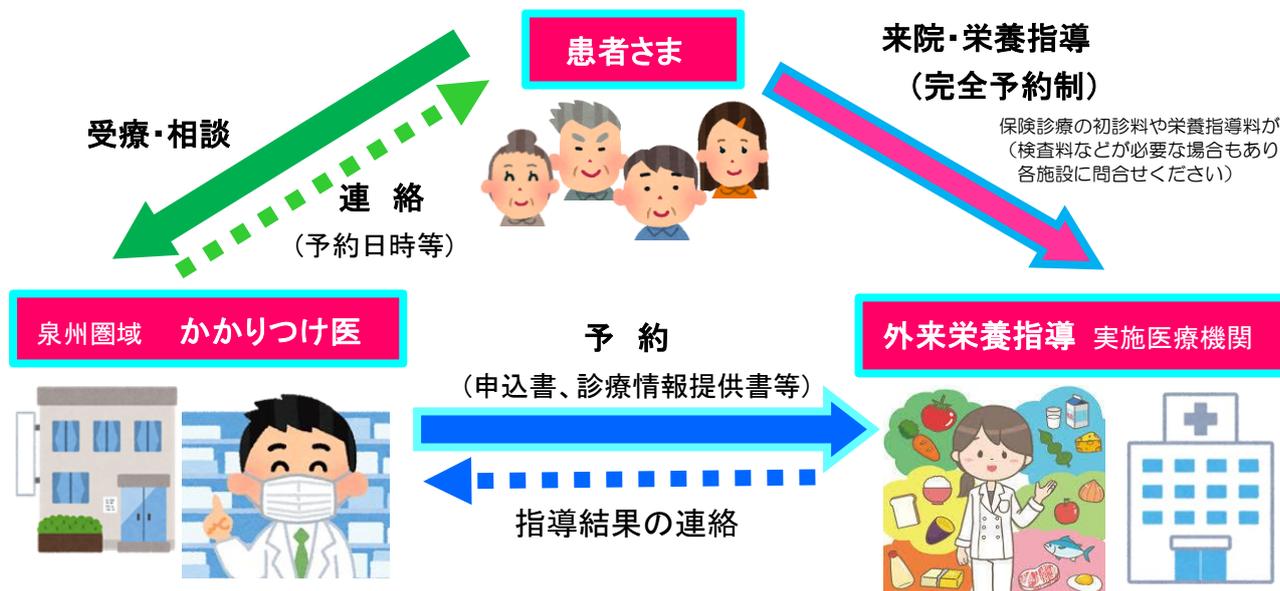


## <泉州圏域> 糖尿病

# 『かかりつけ医からの紹介による外来栄養指導』

「泉州圏域糖尿病医療連携推進検討会」は、大阪府医療計画に基づいて、糖尿病の医療連携の推進を目的に、専門病院医師・医師会代表・泉州圏域歯科懇話会代表・泉州圏域薬事懇話会代表・保健所長等で構成しています。糖尿病の重症化予防のため、『かかりつけ医からの紹介による外来栄養指導』を推奨しています。

日常の診療はかかりつけ医が行い、掲載している医療機関の栄養士が、外来栄養指導を行うものです。療養指導のひとつとしてご活用ください。



### <かかりつけ医からの紹介による外来栄養指導の実施医療機関>

令和6年2月現在

完全予約制 (専用の申込書等あり)

次ページ以降もご覧ください

実施機関	所在地	窓口	電話	FAX
泉大津市立病院	泉大津	地域医療連携室	0725-32-5622	0725-32-6961
泉佐野優人会病院	泉佐野	地域医療連携室	072-462-2851	072-462-1899
和泉市立総合医療センター	和泉	地域連携センター	0725-41-3150	0725-41-2513
葛城病院	岸和田	地域医療連携室	072-422-9911	072-422-9931
かわい病院	泉大津	地域連携室	0725-21-6222	0725-21-0387
市立貝塚病院	貝塚	地域医療連携室	072-422-5865(代)	072-438-5511
市立岸和田市民病院	岸和田	地域医療連携室	072-441-8825	072-441-8810
永山病院	熊取	地域医療介護相談室	072-453-1122(代)	072-451-2160
藤井病院	岸和田	地域医療課	072-436-2201	072-436-3927
府中病院	和泉	地域医療連携室	0725-40-2147	0725-40-2148
横山医院	和泉	地域連携室又は医事課	0725-92-0045	0725-92-0330
りんくう総合医療センター	泉佐野	地域医療連携室	072-469-3111(代)	072-469-7931

(五十音順)

\* 上記以外に実施機関がありましたら和泉保健所に連絡ください。

## 【 外来栄養指導の実施機関から 】

### 泉大津市立病院

住所: 泉大津市下条町16-1  
(南海本線泉大津駅 徒歩10分)

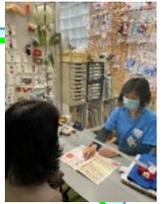


※電話または診療予約申込書にて申込みください

ホームページ: <http://www.hosp-ozu-osaka.jp/product/eiyoukanrika/>

#### 栄養士から

- 患者さん一人ひとりに合わせた指導を心がけ、自信をもって食事療法に取り組めるようサポート致します。
- 「今の食事で大丈夫?」「工夫できることを教えてほしい」などの方が利用しています。ぜひ、お気軽にご活用ください。



### 泉佐野優人会病院

住所: 泉佐野市湊4丁目5番17号  
(南海本線井原里駅 徒歩8分)



※電話にてお申込みください

ホームページ: <https://yujinkai.or.jp/>

#### 栄養士から

- 月曜日～土曜日でご希望に応じた日時調整をさせていただいております。
  - 食習慣を改善することで、病気の悪化を防ぐことが可能です。
- お食事の話を聞きながら、ライフスタイルに合わせた、継続しやすい提案をさせていただきます。



### 和泉市立総合医療センター

住所: 和泉市和気町4-5-1  
(JR和泉府中駅からバス5分)



※専用の申込書(兼診療情報提供書)にて申込みください

ホームページ: <https://izumi.tokushukai.or.jp/cooperation/>

#### 栄養士から

- 予約制で、水曜日午後を実施しています。  
(診察2時、栄養指導3時より)
- 一人ひとりの生活環境に合わせたお話を心がけております。ぜひ、お気軽にご相談ください。



### 葛城病院

住所: 岸和田市土生町二丁目33番1号  
(JR東岸和田駅 徒歩10分)



※専用の申込書(兼診療情報提供書)にて申込みください

ホームページ: <https://www.katsuragi-hosp.or.jp/section/nutrition/teaching/>

#### 栄養士から

- 予約制で、毎週水曜日・金曜日の  
13時30分～、14時30分～ 実施しています。
- 「これならできそう!」小さなことから始めてみませんか?  
感染症対策にも力を入れておりますので、ご安心してご相談ください。



### かわい病院

住所: 泉大津市豊中町2-6-5  
(JR和泉府中駅 徒歩15分)



ホームページ: <http://www.kawai-hp.or.jp/news/202101295005.html>

#### 栄養士から

- 月～金曜日で日時調整させていただきます。お気軽にお問合せ下さい。
- 食事や栄養面でお困りではございませんか?  
お手伝いできる事ありませんか?  
ぜひ、管理栄養士をご活用ください。



### 市立貝塚病院

住所: 貝塚市堀3-10-20  
(南海本線貝塚駅 徒歩10分)



※専用の申込書(兼診療情報提供書)にて申込みください

ホームページ: [http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/busyo/chiiki/nutrition\\_support/index.html#irai](http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/busyo/chiiki/nutrition_support/index.html#irai)

#### 栄養士から

- 今の食事について不安なこと、わからないこと、一緒に考えて「できること」からアドバイスしていきます。



## 市立岸和田市民病院

住所: 岸和田市額原町1001番地  
(JR下松駅 徒歩6分)



※専用の申込書(兼診療情報提供書)にて申込みください

ホームページ: <https://www.kishiwada-hospital.com/medical/partnership/>

### 栄養士から

○患者さん一人ひとりに合わせ食事療法が無理なく実践できる  
ようサポートいたします。  
ぜひお気軽にご活用ください。



## 永山病院

住所: 泉南郡熊取町大久保東1-1-10  
(JR熊取駅 徒歩5分)



※電話で依頼後、当院作成の情報提供用紙にて申込みください

ホームページ: <http://www.nagayama.or.jp/sp/>

### 栄養士から

○多職種の糖尿病療養指導士が在席しており、  
食事指導だけでなく療養相談にも対応します。  
○「糖尿病教室」も開催しており参加していただけます。

## 藤井病院

住所: 岸和田市西之内町3-1 (南海本線泉大宮駅 徒歩5分)

※お電話にて腎臓内科の診察予約をとって頂きます(医療機関のみ)

診療情報提供書をFAXいただき、医師に確認後診察日の返答をさせていただきます。

ホームページ: <https://www.ryoshukai.or.jp/medical/fujii/>

### 栄養士から

○糖尿病性腎症、特に保存期腎不全の食事を中心に  
患者様に寄り添った継続的な栄養指導を行っております。  
○かかりつけ医と当院腎臓内科医、管理栄養士が連携し  
地域で患者様をサポートできる体制を目指しています。

## 府中病院

住所: 和泉市肥子町1-10-17  
(JR和泉府中駅 徒歩2分)



※ホームページより、外来栄養指導申し込み書(糖尿病)を  
ダウンロード・記入の上、地域医療連携室へFAXにて申込みください

ホームページ: <https://seichokai.jp/fuchu/>

### 栄養士から

○栄養指導室で、フードモデル等を使って、個人のペースに  
併せてアドバイスしています。  
○かかりつけ医からの紹介で、  
「糖尿病教室」も受けられます。(予約制)



## 横山医院

住所: 和泉市仏並町287番地  
(南海泉北高速鉄道/和泉中央駅の②番乗り場から  
「系統No.31-37 榎尾山口行」、「系統No.33 父鬼行」のバスで20分  
「榎尾中学校前」下車、徒歩3分) ※無料駐車場有



※【各種お申込みフォーム】から栄養指導申込用紙をダウンロードし、お申込下さい

ホームページ: <https://www2.tachibana-med.or.jp/yokoyama/>

### 栄養士から

○お忙しい方も相談しやすいよう、土曜日や祝日にも対応しています  
○かかりつけ医から検査データを送って頂き、データを確認しながら指導を行い、指導後はかかりつけ医に  
指導記録をフィードバックしています。



## りんくう総合医療センター

住所: 泉佐野市りんくう往来北2番地の23  
(JR関西空港線・南海空港線  
りんくうタウン駅 徒歩5分)



※専用の申込書(兼診療情報提供書)にて申込みください

ホームページ: <http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/cooperation/chiiki3/diabetes/>

### 栄養士から

○携帯電話で撮ったふだんのお食事の写真から  
食事評価させていただくこともできます。  
○豊富な資料と食品模型を使って  
理解しやすい工夫をしています。  
○継続した栄養指導も積極的に行っています。



## 栄養指導事例のご紹介

### (相談者)

60歳代 男性 身長 164cm

### ●栄養指導前の食生活

- 朝食抜きの1日2食
- 炭水化物の過剰摂取（米飯 350g/食）
- 野菜摂取量少ない
- 間食が多い
- コーヒーやジュースは砂糖入りのものを飲んでいる
- アルコールは毎日摂取

栄養  
指導

野菜摂取量や飲料の砂糖量を意識することで、血糖値の上がりにくい、栄養バランスのよい食生活ができるようアドバイス



管理栄養士

### ●栄養指導後の食生活

- 朝食を食べるようになった
- 炭水化物の重ね食べをやめた（米飯 160g/食）
- 毎食サラダを食べるようになった
- 夕食後の間食をやめた
- コーヒーの砂糖を甘味料に、ジュースは砂糖不使用のものを選ぶようになった
- 週2日休肝日を設けた

指導日	初回	約1ヶ月後	約4ヶ月後
HbA1c(%)	10.3	8.4	6.0
体重(kg)	72	68	66

### 外来栄養指導を受けてみて

栄養指導を受けることで、血糖値を上げにくい食事について意識するようになり、数値が改善しました。指導の度、細かな疑問点も聞くことができ安心できました。

### 他にも…

- 栄養指導は叱られると思っていたが違った。もっと早く受ければよかった！

- 自己流の食事療法を続けていたが、自分の適正量がわかるようになった。

## 糖尿病といわれたら、まず糖尿病連携手帳を！

すべての医療機関で  
内科医も  
眼科医も



歯科医も  
薬剤師も

泉州圏域では、糖尿病連携手帳の普及を進めています  
患者さんをサポートする医療機関の情報共有に有効です